

ご 寄 付 善意のご寄付をありがとうございました

今回も善意のご寄付をいただきありがとうございました。皆様からのご寄付は社協の貴重な財源として地域福祉推進のために活用させていただきます。

- ◆牧之原市立片浜小学校 様 7,000円 ◆匿名 様 5,000円
- ◆秋野孝夫 様

東日本大震災義援金にご協力ありがとうございました(3月31日で終了)
◆義援金集計額 2,065,591円
※義援金は県共同募金会を通じて全て中央共同募金会へ送金させていただきました。

賛助会費にご協力ありがとうございました(敬称略)

- ◆(株)木村組 ◆(有)名波土建
- ◆(株)マルユウトラベル ◆(株)カネハチ

お知らせ

お問い合わせ(申込先): 牧之原市社会福祉協議会 相良事務所 (☎52-3500) または 榛原事務所 (☎22-5187)

子育て中の皆さん! 集まれ!!

ご自由にどうぞ

0歳から入園前の子どもと保護者が気軽に交流でき、育児の情報交換や友達づくりの場として、「のびのび子育て井戸端会議」を行っています。遊びを通して仲間づくりをしませんか?

- 【日 時】5月8日(火) 10:00~11:30
- 【会 場】い〜ら
- 【内 容】ギターと一緒に



デイサービスセンターうたり 臨時看護師募集

- 【人 数】1人(概ね55歳未満)
- 【勤務時間】9:00~16:00(半日でも可、9:00~13:00)
- 【勤務日】月~日曜日(休日は本人の希望日)
- 【時 給】正看1,200円~(准看1,100円~)
- ※土日祝日は時給100円u p
- 【応募】社協へ電話連絡後、履歴書をご持参下さい。
- 【その他】自社規定による交通費支給(社会保険加入可)

平成24年度 赤い羽根共同募金助成先募集のご案内

10月からの赤い羽根共同募金運動の実施に先立ち、県内で社会福祉を目的に事業を行っている民間の非営利団体(地区社協等)やボランティアグループ、社会福祉施設からの助成事業の申請を受け付けます。

【募集区分】

1. 安心・安全・地域の支え合い体制づくり支援事業(事業費、機器整備費)
2. 地域福祉活動事業(事業費、機器整備費)
3. 福祉施設機器整備事業
4. 緊急助成事業

【助成対象】

県内で社会福祉を目的に事業を行っている民間の社会福祉施設・非営利の団体(地区社協・地区民生委員協議会・特定非営利活動法人・小地域活動団体・ボランティアグループを含む)

【受付期間】4月2日(月)~5月15日(火)

【受付場所】静岡県共同募金会または牧之原市共同募金委員会(社協)

【申請期限】5月15日(火)

※助成要綱及び申請用紙等詳しくは、静岡県共同募金会のホームページ(<http://www.shizuoka-akaihane.or.jp>)をご覧ください。

お詫び 先月号(第77号)の賛助会費及びご寄付の中で、(株)みつばし様の表記が(株)みつばしに、芝本会様の表記が芸本会となっておりますので、お詫び申し上げます。

5月 ふれあい福祉センターのご案内

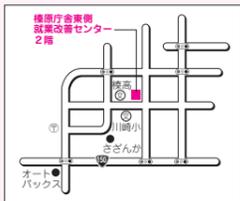
みなさんが普段の生活の中で抱えている様々な悩みや問題について広く相談に応じ、いろいろな機関と連携をとりながら問題解決を図っていきます。

法律相談(弁護士・行政相談員・人権擁護委員) (10:00~15:00)

法律問題、行政問題、人権問題の解決を図ります。
【会場:市民相談センター】2日(水)、16日(水)
※受付は当日8:30~(先着8名)となります。(電話予約のみ)

心配ごと相談(民生委員・司法書士) (9:00~11:30)

生計や年金、土地・建物の相続問題、夫婦間や子ども等の家庭の問題の解決を図ります。
【会場:市民相談センター】
9日(水)、23日(水)



〈お問い合わせ〉☎23-0088

※会場をお間違えのないようお願いします。

福祉総合相談(8:15~17:00)

福祉サービスやその利用手続き、日常生活における悩みや心配ごと等関係機関と連携して問題解決を図ります。
【会場:相良事務所・榛原事務所】毎週月~金曜日

ボランティア相談(8:15~17:00)

ボランティアをしたい人、力を借りたい人、希望にあった活動探しのお手伝いをします。
【会場:相良事務所・榛原事務所】毎週月~金曜日

貸付相談(8:15~17:00)

低所得世帯等の方が安定した生活を送れるよう、自立に向けたお手伝いをします。
【会場:相良事務所・榛原事務所】毎週月~金曜日
※貸付を受けるには条件があります。(資金によって貸付までの日数が異なります)
〈お問い合わせ〉☎52-3500・☎22-5187

在宅介護(介護機器)相談

在宅介護に関する総合的な窓口として、介護保険や福祉サービス等に関する全般の相談をお受けします。(お電話は24時間受け付けます)
【地域包括支援センターさから】☎53-1900
【地域包括支援センターオリーブ】☎22-8822



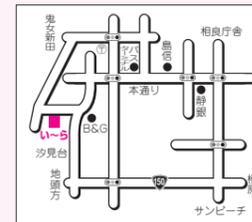
マッキーちゃん

※「社協」とは「社会福祉協議会」の略称です 発行/社会福祉法人牧之原市社会福祉協議会

第78号

平成24年4月15日発行
(毎月15日発行)
次回は5月15日発行

ふくしだより



◆相良事務所
〒421-0524 牧之原市須々木140番地
(牧之原市相良総合センターい〜ら内)
☎0548-52-3500 FAX0548-52-5585
E-mail: csw-sagar@po2.across.or.jp

- 相良デイサービスセンター…………… ☎ 52-5553
- 地域包括支援センターさから…………… ☎ 53-1900
- 相良ホームヘルプサービス事業所…………… ☎ 53-2212
- 相良居宅介護支援事業所…………… ☎ 87-2327
- 生きがいデイあしたか…………… ☎ 52-5768



◆榛原事務所
〒421-0422 牧之原市静波172番地1
(牧之原市老人福祉センター龍眼荘内)
☎0548-22-5187 FAX0548-24-1166
E-mail: csw-haiba@po2.across.or.jp

- デイサービスセンターうたり…………… ☎ 22-4419
- 榛原ホームヘルプサービス事業所…………… ☎ 24-1165
- 榛原居宅介護支援事業所…………… ☎ 22-6520

ホームページ <http://www.makinohara-shakyo.jp>



地域の
力で
まちづくり

ウインナー作りで世代間交流

3月10日さざんかを会場に、三世交代事業を開催し46人が参加しました。当日はJAハイナン農畜産課の増田隆幸さん、稲見てる子さんを講師にお招きし、ウインナー作りを体験しました。

参加者にとってウインナー作りは初めての方がほとんどで、始めはなかなか先生のようにスルスルと腸にお肉を詰めることができず、1個作るのに時間もかかっていましたが、みんなで協力し夢中で作っているうちに、あっという間にお皿に山盛りのウインナーができあがっていました。

参加者からは、「初めての経験だったが楽しかった。」「みんなで一緒に作って楽しかった。」「完璧じゃないけど美味しそう。」などの感想があり、ウインナー作りを通して多くの人と接したり、協力することで、世代間の交流につながりました。

※ふくしだよりはみなさまからいただいた会費で発行しています(再生紙)

※『ふくしだより』は下記の場所にも置いてあります。

- 【相良地区】いきいきセンター・児童館・B&G・相良公民館・萩間公民館・トーク地頭方・静岡銀行相良支店・相良郵便局・島田信用金庫相良支店・JAハイナン相良支店
- 【榛原地区】さざんか・6地区社協・榛原郵便局・静岡銀行榛原支店・島田信用金庫榛原支店・スルガ銀行榛原支店・榛原総合病院

東萩間区と掛川市原泉地区が意見交換会を開催

3月7日東萩間公会堂を会場に、東萩間区と掛川市原泉地区の意見交換会が開催されました。この交換会には、両地区合わせて25人が出席し、お互いの地域活動についての意見交換が行われました。どちらの地区も中山間地で高齢化率が高い地区ということもあり、担い手不足などの同様の課題を抱えており、それぞれの活動の取り組み状況の報告を通じて、活発に意見が交わされていました。



今回、萩間地区がモデル事業に取り組んでいたこともあって実現した意見交換会ですが、この意見交換会をきっかけに、今後ますます地域福祉活動の推進が図られることが期待されます。

地区代表者連絡会を開催

3月9日さざんかを会場に、各区の代表者61人が出席し地区代表者連絡会を開催しました。今回の連絡会は、社会福祉法人一羊会理事長の栗林均氏を講師に迎え、「共に助け合える地域をつくろう」と題して講演会を行いました。

栗林氏からは、法人が運営する各施設が毎月取り組んでいる防災訓練の映像を交えながら、施設の様子や通所者の様子などをわかりやすくご説明いただきました。その中で、特に地域で行う避難訓練においても、子どもや障がい者の対応などを日頃から考えておいていただきたいし、また、災害時には地域の皆さんの協力をお願いしたいという働きかけがありました。社協としましても、誰もが安心して暮らすための地域づくりに、これからも地域の皆様と一緒に取り組んでいきたいと思っております。



「災害時の地域における支え合い」推進シンポジウムに参加

3月8日グランシップを会場に、県社協主催のシンポジウムが開催され、県内の社協や行政、民生委員児童委員等約300人が出席しました。このシンポジウムには東日本大震災の被災地である岩手県より、県社協、行政、民生委員児童委員、福祉施設、福祉団体からそれぞれ5名の講師が参加し、地震発生直後の状況やその後の対応について話がありました。その中で皆さん共通していたことは、国等の支援はすぐには望めないため、日頃からの地域での支え合いや助け合いが何よりも大事であるということでした。社協としては今回の震災やこのお話を教訓に、これからの地域福祉活動で何が大切なのか、改めて地域の皆様と一緒に考えながら取り組んでいきたいと思っております。

サロン協力員懇談会を開催

3月22日い〜らを会場に、日頃サロン事業にご協力をいただいている協力員66人が参加し、協力員懇談会を開催しました。

今回は、認知症キャラバンメイトの竹内みち子氏を講師に迎え、高齢者や認知症の方にみられる症状や接し方とあわせて緊急時の対応などについても分かりやすくお話をいただきました。また、日頃サロンで感じている苦勞などについて、具体的にアドバイスもいただくことができました。参加者からは、今後のサロン活動の参考になり参加して良かったという感想も聞かれ、これからも社協としてはサロンを通して、身近な地域に安心を広げていければと思っています。



牧之原市福祉教育ハンドブックを作成しました

一昨年度より、福祉への理解と参加を推進し牧之原市の福祉教育の充実を目的に、福祉教育学校・施設連絡会で検討してまいりましたが、皆様の協力のもと福祉教育ハンドブックが完成しましたのでご報告いたします。このハンドブックの作成を通じて、それぞれの立場や思いを尊重しながら、つながりを深めることができたことに、大きな意味を感じています。

社協としましては、今後も学校や地域における福祉教育に積極的に関わり、このハンドブックを活用していただき、皆様からのご意見もいただければと思っています。これまで、発行に際しましてご尽力をいただきました関係者の皆様に、心よりお礼申し上げます。

さがら作業所・地域活動支援センターはぐるま法人移管のお知らせ

障害者自立支援法施行に伴う事業移行にあたり、社会福祉協議会の事業所としてこれまで3年間活動してまいりましたが、平成24年4月1日より地域における障害者支援の場として、更なる役割や機能強化を図るために、NPO法人ころこ（法人本部は島田市金谷）で活動していくことになりました。これまで皆様にはご理解、ご支援をいただきましてありがとうございました。

今後は、新しい法人とはなりますが、場所や事業内容は変わりませんが、これからも皆様のご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

スマイルリレー ～笑顔のバトンタッチ～

Vol.46

【氏名】 植田 由美子さん
(おはなしパレット)

【地区】 須々木



牧之原市の福祉やボランティアについて一言

私は、小・中学校の朝読書での読み聞かせや市内の幼稚園・保育園・小学校・デイサービスさん等へ、パネルシアター、大型絵本、紙芝居などで、お話を届けるボランティアグループ“おはなしパレット”での活動をしています。

絵本を見つめる子ども達のキラキラ輝く笑顔が、私の元気の源です。読書は子どもの心を支えてくれます。この活動の輪が広がり、子ども達の読書環境の整備がされ、手に届く所に本がある日常になることを願っています。

平成24年度 牧之原市社会福祉協議会事業計画

私たちの牧之原市が、「ふれあいを大切にした 生涯安心して暮らすことのできるまち」となるように、私たちは一層地域福祉活動を推進することを誓い、次の重点項目を推進します。

具体的な実施目標

1. 地域の福祉力の向上を推進します

地域社会を共に支えていく「地域の力」を高めることで、住民相互の支え合いや地域の活動がさらに活発になるよう推進します。

- (1) 地区懇談会の開催
- (2) 民生委員児童委員地区別懇談会の開催の検討・実施
- (3) 地区社協の充実及び新たな地区社協の組織化に向けた取り組みの推進
- (4) 小地域福祉活動のすすめ（推進版）の作成



2. 保健・医療・福祉のネットワークづくりを推進します

関係機関と連携し、高齢者等が要介護状態になっても、可能な限り住み慣れた地域において継続して生活することができるよう体制づくりを行います。

- (1) 地域の見守り・支え合いネットワークの体制づくりの検討・実施（行政等との連携）
- (2) 地域のセーフティーネットを支える社会貢献事業の実施（社会福祉施設との連携）
- ・萩間セーフティーネット会議の開催



3. 福祉教育の充実を推進します

地域ぐるみで将来の福祉の担い手へと成長させる取り組みを推進します。

- (1) 防災マップの作成を通じた福祉教育の実践
- (2) 総合学習への協力（コーディネート）
- (3) 学校や施設との合同防災訓練の実施

4. 福祉サービスの利用援助事業を推進します

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等日常生活に不安がある方を対象に、福祉サービスの利用手続き等の支援することで、できるだけ住み慣れた地域で自立した生活ができるよう支援を行います。

- (1) 日常生活自立支援事業の実施
 - ・相談受付業務
 - ・利用契約の締結（契約書一式の作成）業務
 - ・その他受託業務の遂行に必要な業務
- ・利用契約締結の判断業務
- ・支援計画に基づく援助業務



5. 災害ボランティアコーディネーター（VC）の育成・充実をします

社協の使命を果たすべく、「住民主体」を原則とし、行政等関係機関・団体と連携協働のもと、地域福祉を基盤とした継続的な支援活動に取り組みます。

- (1) 災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練の実施
- (2) 災害VCとの連携



6. ホームページの強化をします

ホームページの充実を図ることで、一層の福祉に関する情報発信を行います。

- (1) ホームページの運営（機能追加）
- ・ホームページのリニューアル
- ・災害時の情報発信



平成24年度 一般会計予算表 (単位 千円)

支出		収入	
① 人件費	324,734	① 会費	4,763
② 事務費	16,239	② 寄附金	830
③ 事業費	66,293	③ 補助金	57,819
④ 貸付事業等	4,500	④ 受託金	57,033
⑤ 共同募金配分金事業費	5,567	⑤ 事業	4,596
⑥ 助成金	9,549	⑥ 貸付事業等	1,004
⑦ 負担金	746	⑦ 共同募金配分金	5,039
⑧ 経理区分間繰入金	22,619	⑧ 負担金	721
⑨ 固定資産取得	5,378	⑨ 介護保険	253,139
⑩ 予備費	9,098	⑩ 利用料	1,886
		⑪ 雑	675
		⑫ 受取利息配当金	93
		⑬ 経理区分間繰入金	22,619
		⑭ 自立支援費等	17,310
		⑮ 移動支援費等	3,123
		⑯ 前期末支払資金残高	34,073
支出合計	464,723千円	収入合計	464,723千円